



1月 おいすかだより

2020年12月23日発行

明日はクリスマス・イブです。幼稚園からクリスマスカードは届きましたか。離れてはおりますが子どもたちとご家族の皆さまを思い、心を込めてメッセージを書き、投函いたしました。喜んでいただけましたら幸いです。

さて、「おいすかだより」は1月号。今度は2021年の年頭のメッセージが教職員から届きました。新しい年、またよろしく願い申し上げます。

ようちえんのいわで、やさいをたくさんつくります。	りじちよう
みつつのあたらしいことにちょうせんし、まいにちめいそうします。えんちよう	みずき
さかあがりや、たくさんれんしゅうします！	むつみ
たのしいことをさがして、まいにちわらってすごします！	もえこ
たくさんほんをよんで、あたらしいはっけんをします！	りさ
みんなとたのしくおうたをうたえるように、ギターをれんしゅうします。	
まいにち、たのしみをみつけよう。	

【1がつ うまれ の おともだち】

- 6か き☆☆☆ ☆☆☆ くん
- 8か さ☆☆ ☆☆☆ くん
- 9か も☆☆☆ ☆☆☆ ちゃん
- 29にち に☆ ☆☆☆ ちゃん



【1がつ おたんじょう かい】

- ・ 1がつ 23にち (どようび) 日本時間 10じから 10じ 40ぷんです。

【1月のねらい】

- ・ 新年の挨拶を交わして喜びを分かち合う。
 - ・ さまざまな物語を楽しむ。物語から受けたイメージを、さまざまな方法で表現する。
- (右画像はJくんの掌と朝顔の種二つぶです。オンライン保育で育みました。)



【保 育】

- ・ 月・火・水・木・金曜日に行います

【Yくんのお母さまのつぶやき】 園庭から届いた「つぶやき」です。

先日、幼稚園でバティック染体験がありました。緻密で美しい無形文化財のバティック。息子が描いたのは、頭頂部に一本毛の生えた、ニヤリと不敵に笑う顔でした。聞くと、オバケに扮したお友だち、とのこと。和柄で間を埋めてみたらどうか、とアドバイスがあり、息子と日本の伝統文様の中から、吉兆を示すという瑞雲文様を選びました。渦巻が所々に配された豊かな雲の柄です。お友だちに沢山良い事があるようにと、布一杯に描き込みました●ところが後日、その下絵を見たバティックの先生は「メガムドゥンね」とおっしゃったのです。調べてみると、バティックにはメガムドゥンという柄があり、それは瑞雲文様と同様、渦巻のある雲の柄で、やはり縁起の良い柄なのだそう。頭上の空が急に広がり、日本の空に繋がっていく心地がしました●今、ジャカルタのオイスカ幼稚園に通うお友だちは数名で、かつて、この素晴らしい園で明るく目を輝かせていた仲間の多くは日本に戻れていると聞きます。このコロナ禍に、それぞれのご家庭で、各々の事情、諦めや決断、責任、努力、様々な思いがあったらうと思います●青空の園庭で、息子の望むがままに極彩色に染め上げられた不敵な顔と雲の柄のバティックが干される様を見ながら、日本にいてもジャカルタにいても、より良い未来へと向けた私達保護者や先生方の眼差しの先に、それぞれの吉兆の雲が現れ、キラキラとした子ども達全ての瞳に、美しい希望がうつる事を祈りました。